

インフルエンザ情報 第7週 2012年2月13日～2月19日

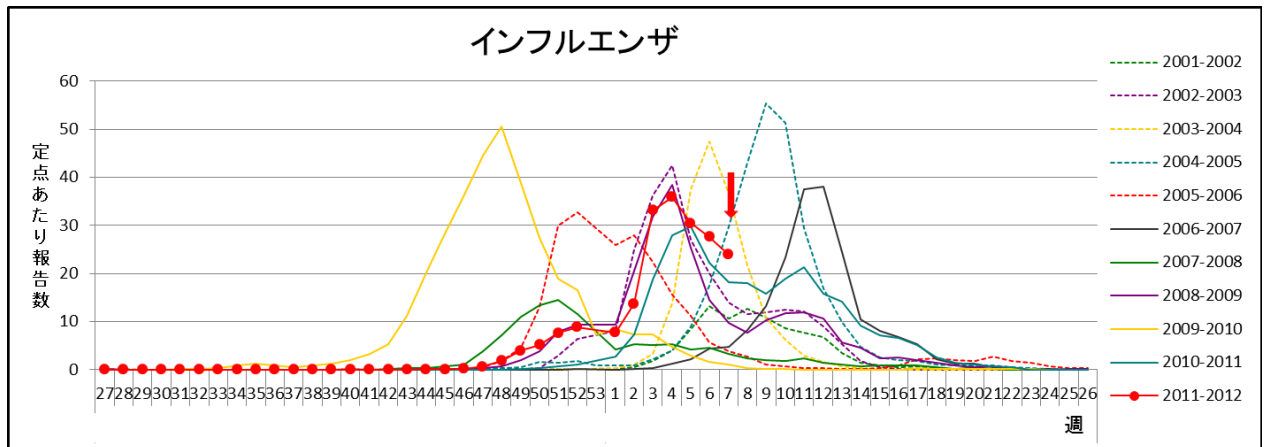
岡山県は、『インフルエンザ警報』を発令中です。

➤ 岡山県の流行状況

- 岡山県内の患者報告数は 2,013 名（ 定点あたり 23.96 人 ）となり、3 週連続で減少しました。
- 県全体では感染症発生レベル 3 で、流行が継続しています。
- インフルエンザとみられる学校の臨時休業が、県内全域の 98 施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者が、5 名ありました。

【速報】第 8 週 インフルエンザとみられる臨時休業が 88 施設でありました。（ 20 日～23 日まで）

▽岡山市 32 ▽倉敷市 22 ▽真庭市 8 ▽井原市 5 ▽玉野市 4 ▽瀬戸内市 3 ▽和気町 3 ▽備前市 2
▽総社市 2 ▽高梁市 2 ▽早島町 2 ▽赤磐市 1 ▽吉備中央町 1 ▽美作市 1



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ～ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

インフルエンザ患者数は 2,013 名（ 84 定点医療機関 定点あたり 23.96 人 ）であり、3 週連続で前週（ 2,324 名 定点あたり 27.67 人 ）より減少しました。岡山県は、ひきつづき県内に『インフルエンザ警報』を発令し、注意喚起を図っています。地域別では、真庭地域（ 53.67 人）、倉敷市（ 34.25 人）、備前地域（ 25.67 人）、岡山市（ 21.18 人）、備中地域（ 19.33 人）、美作地域（ 15.00 人）、備北地域（ 11.83 人）の報告があり、備北地域を除く県内全域で減少しました。しかし真庭地域や倉敷地域では依然として定点あたり 30.00 人を越えており、患者が多い状態がつづいています。感染症発生レベルは、県全体ではレベル 3、岡山市・倉敷市・備前地域・備中地域・真庭地域がレベル 3、美作地域・備北地域がレベル 2 であり、患者数は減少したものの流行は継続しています。

県内のインフルエンザウイルスの主流は AH3 型ですが、B 型の流行も確認されています。一度インフルエンザにかかっても、型の異なるインフルエンザウイルスに再び感染することがあります。ひきつづき『外出後や食事の手洗い・うがいを徹底する。』『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する。』『十分な睡眠をとる。』など、感染予防に努めてください。また、症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケット^{*}を心がけましょう。

※咳エチケット：人に向かって咳やくしゃみをしないこと。とっさに咳やくしゃみが出そうなときは、周囲の人から顔をそらし、そで口で口をおおう、また用意があればティッシュなどで口・鼻をおおいます。咳やくしゃみが続くときはマスクの用意してください。

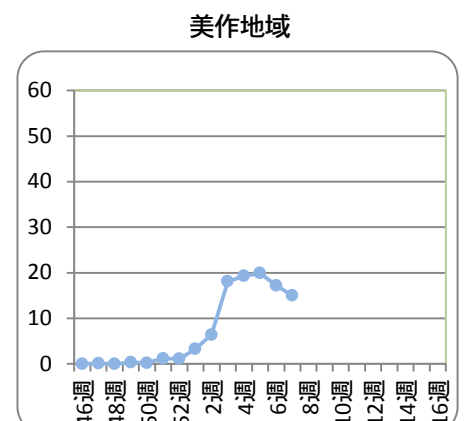
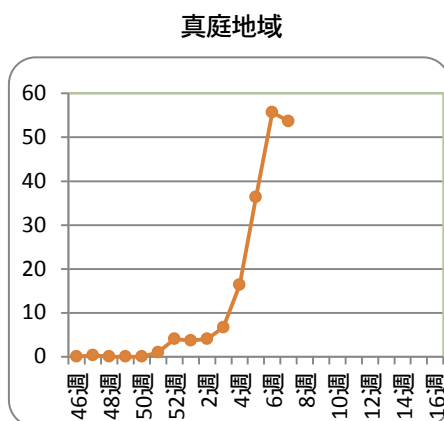
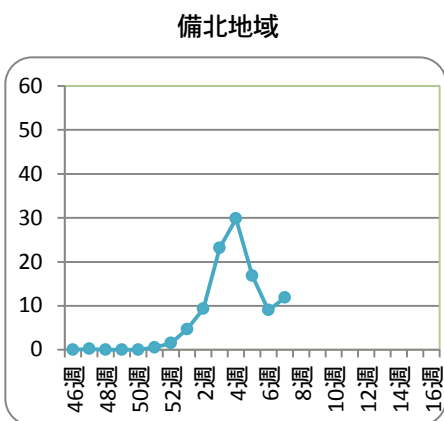
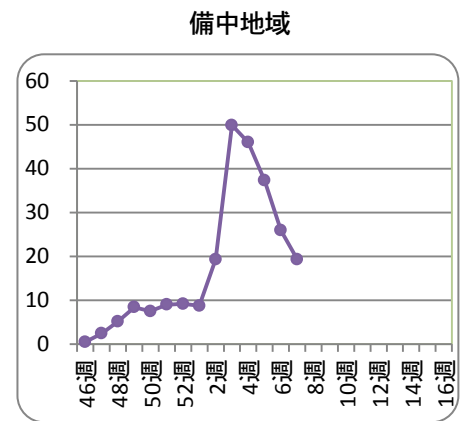
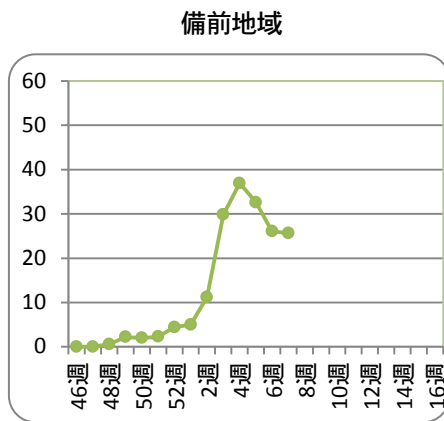
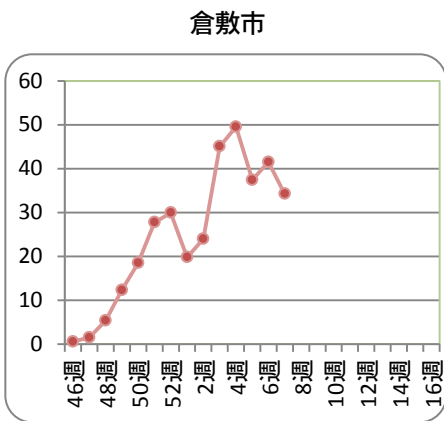
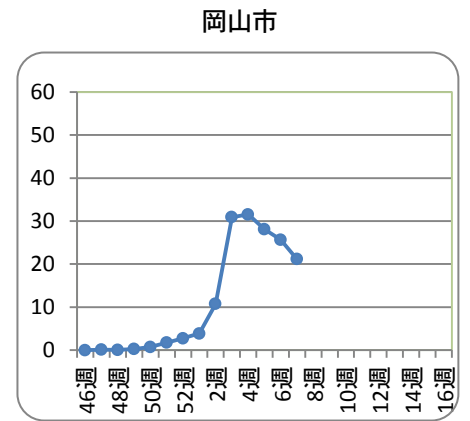
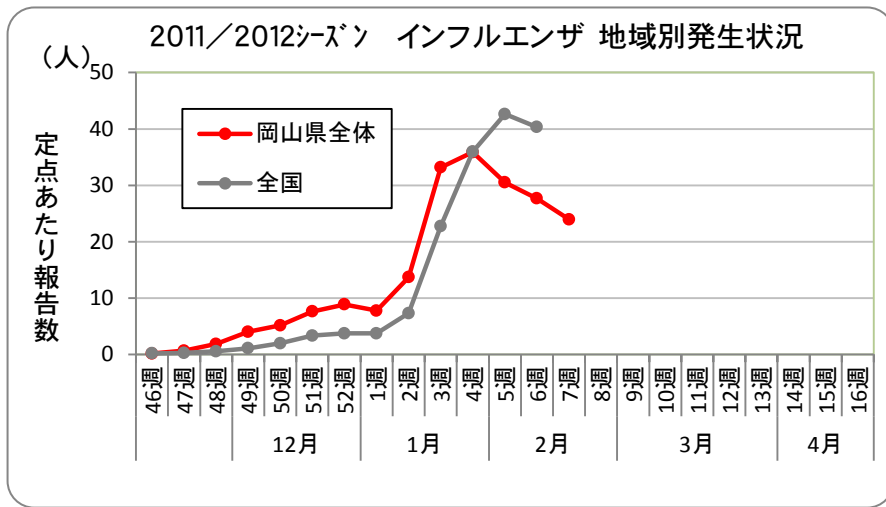
[○全国のインフルエンザ発生状況（国立感染症情報センター）](#)

1. 地域別発生状況

第7週 (2/13~2/19) 前週からの推移 (単位: 人)

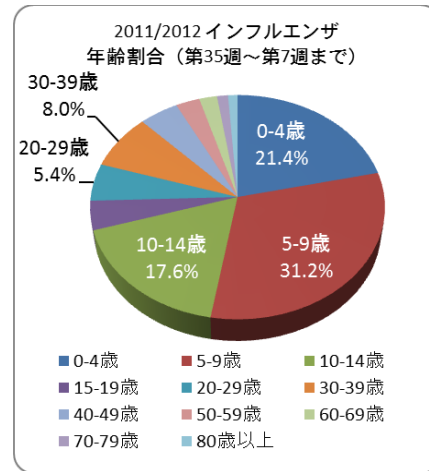
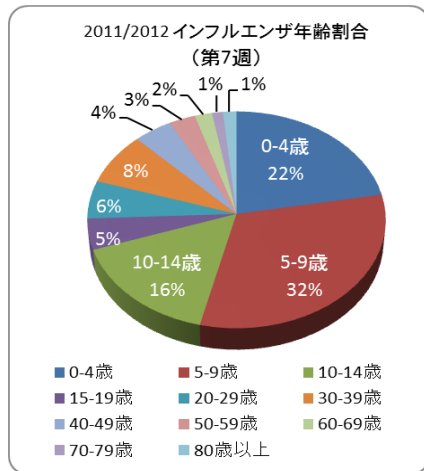
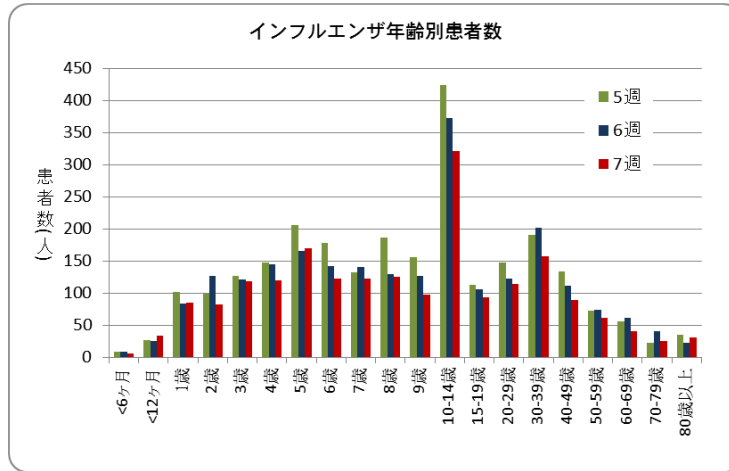
地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	2,013	↓	備 中	患者数	232	↓
	定点あたり	23.96			定点あたり	19.33	
岡山市	患者数	466	↓	備 北	患者数	71	↑
	定点あたり	21.18			定点あたり	11.83	
倉敷市	患者数	548	↓	真 庭	患者数	161	↑
	定点あたり	34.25			定点あたり	53.67	
備 前	患者数	385	→	美 作	患者数	150	↓
	定点あたり	25.67			定点あたり	15.00	

【記号の説明】 前週からの推移: ↓ 2倍以上の減少 ↓ 1.1~2倍未満の減少 → 1.1未満の増減
 ↑ 1.1~2倍未満の増加 ↑ 2倍以上の増加



2. 年齢別患者発生状況 第7週（2/13～2/19）

第7週、患者の年齢割合は5-9歳が全体の32%で最も多く、0-4歳が22%、10-14歳が16%の順であり、ひきつづき幼稚園児・小学生に該当する年齢層が患者の多くを占めています。



➤ インフルエンザウイルス検出状況 第7週（2/13～2/19）

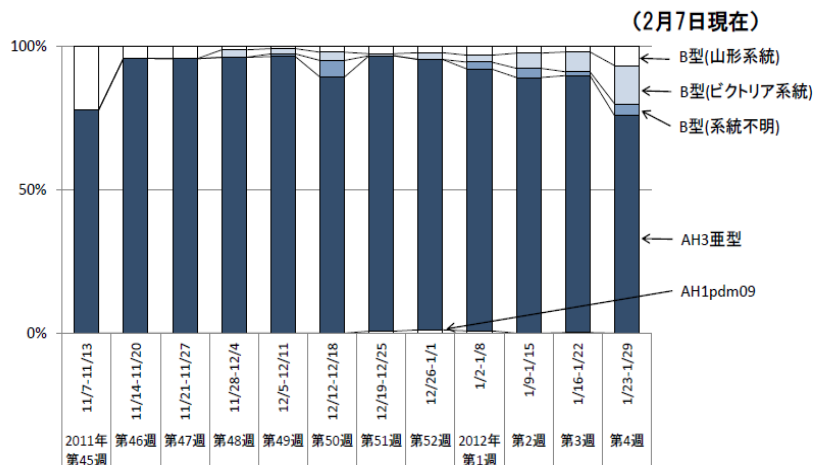
第7週に当センターで検出されたインフルエンザウイルスはありません。

岡山県でこれまでに検出されたインフルエンザウイルスはAH3型が31株、B型が3株です。

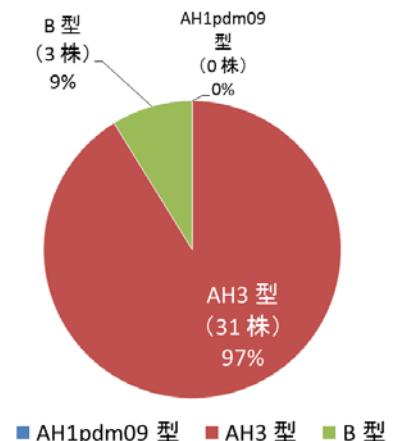
全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型の割合が最も多く88.4%（1,790株）、B型が11.3%（228株）、AH1 pdm09型が0.3%（6株）の順になっています。AH3型が主流ですが、B型の検出も増加しています。

[\(国立感染症情報センター インフルエンザウイルス分離・検出速報 2011/2012シーズン\)](#)

全国 インフルエンザウイルスの亜型の動向 (2011/2012シーズン)



2011/2012シーズン 岡山県インフルエンザウイルス 型別検出割合 (n = 34)



➤ インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数 第7週(2/13~2/19)

学校等の臨時休業が県内全域の98施設でありました。

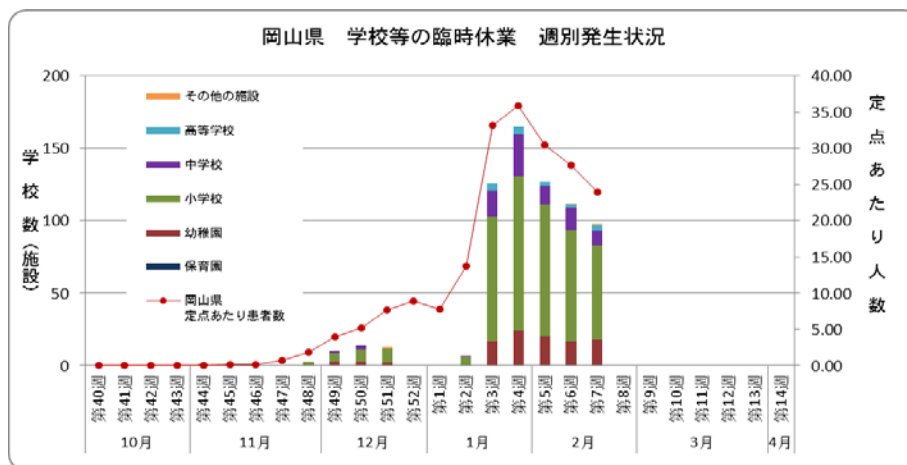
措置別：休園・休校 4施設、学年閉鎖 23施設、学級閉鎖 71施設

施設別：幼稚園 18施設、小学校 65施設、中学校 10施設、高等学校 4施設、その他 1施設

有症者数は1,292名、うち欠席者数964名でした。

第7週までの合計は、有症者数11,145名、うち欠席者数8,031名、施設数はのべ676施設になりました。

[岡山県 インフルエンザとみられる臨時休業 \(健康推進課ホームページ\)](#)



1. 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

【第7週】

(第8週発生 of 臨時休業数の掲載は、第8週週報で行います。)

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	1,292	11,145	964	8,031	98	676	4	25	23	188	71	463	H23.10.31
岡山市	586	4,827	423	3,301	38	267	1	3	7	47	30	217	H23.12.15
倉敷市	285	2,587	214	1,924	25	145	1	4	3	23	21	118	H23.10.31
備前地域	187	1,328	149	1,078	15	93	0	4	5	40	10	49	H23.12.5
備中地域	58	1,136	47	943	6	92	1	7	1	37	4	48	H23.11.30
備北地域	78	279	62	194	8	25	0	1	4	11	4	13	H24.1.16
真庭地域	40	412	28	239	3	17	0	3	2	10	1	4	H24.1.13
美作地域	58	576	41	352	3	37	1	3	1	20	1	14	H24.1.16

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2. 臨時休業施設数の内訳 第7週(2/13~2/19)

岡山市：幼稚園8 小学校24 中学校4 高等学校1 その他1

倉敷市：幼稚園5 小学校17 中学校3

備前地域：幼稚園3 小学校11 中学校1

備中地域：小学校5 中学校1

備北地域：幼稚園1 小学校3 中学校1 高等学校3

真庭地域：小学校3

美作地域：幼稚園1 小学校2

第7週：98施設

累計：676施設

施設数	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	18	104	65	460	10	90	4	19	1	3

【第8週 学校等の臨時休業 速報】(2/20～2/23まで)】

【措置別】

休校施設：倉敷市1、井原市1、高梁市1、真庭市3、

学年閉鎖施設：岡山市6、倉敷市5、玉野市2、瀬戸内市2、和気町2、吉備中央町1、井原市1、高梁市1、真庭市5、美作市1

学級閉鎖施設：岡山市23、倉敷市9、備前市2、赤磐市1、玉野市2、瀬戸内市1、和気町1、総社市2、井原市3、早島町2

【施設別】 ▽保育園 0 ▽幼稚園 13 ▽小学校 48 ▽中学校 10 ▽高等学校 0 ▽その他 2

【日付・地域別】

2月20日 ▽岡山市：15 ▽倉敷市：10 ▽備前地域：玉野市3、備前市1、赤磐市1、和気町3、瀬戸内市1、(45施設) 吉備中央町1 ▽備中地域：総社市1、井原市3、早島町1 ▽備北地域：高梁市2
▽真庭地域：真庭市3

2月21日 ▽倉敷市：4 ▽備前地域：玉野市1、瀬戸内市1 ▽備中地域：総社市1、早島町1
(20施設) ▽真庭地域：真庭市1 ▽美作地域：美作市1

2月22日 ▽岡山市：4 ▽倉敷市：1 ▽備前地域：瀬戸内市1 ▽真庭地域：真庭市1
(7施設)

2月23日 ▽岡山市：3 ▽倉敷市：7 ▽備前地域：備前市1 ▽備中地域：井原市2 ▽真庭地域：真庭市3
(16施設)

➤ 入院時の状況と年齢別内訳 第7週 (2/13～2/19) (県内基幹定点 5医療機関による報告)

第7週、インフルエンザによる入院患者5名(幼児2名、60代1名、70代1名、80代以上1名)が報告されました。入院患者の多くは、70歳以上の高齢者(40%)と5歳以下の幼児(35%)です。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。

乳幼児ではまれに脳症を起こすことがあります。水分をとったあとすぐに吐いてしまい元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときはすぐに医療機関に相談しましょう。

【第7週 入院患者数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	1	1								1	1	1	5
ICU入室													
人工呼吸器の利用													
頭部CT検査(予定含)													
頭部MRI検査(予定含)													
脳波検査(予定含)													
いずれにも該当せず	1	1								1	1	1	5

*重複あり

【平成23年9月5日以降に入院した各患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	7	17	8	2	1	1	1			4	11	17	69
ICU入室										1	2		3
人工呼吸器の利用											1		1
頭部CT検査(予定含)		6	3	1	1						4	1	16
頭部MRI検査(予定含)		2									3	1	6
脳波検査(予定含)		5									3	1	9
いずれにも該当せず	7	9	5	1		1	1			3	5	16	48

*重複あり